

# 2025年12月 イーアイデム会員対象アンケート結果

## TOPICS

**41.8%の人が求職活動で生成AIを活用した経験あり**

株式会社アイデム

メディアソリューション事業本部 データリサーチチーム

## 調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

## 調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

## 調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2025/12/01～2025/12/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

## 調査期間

- ▶2025/12/02～2026/01/05（35日間）

## 調査方法

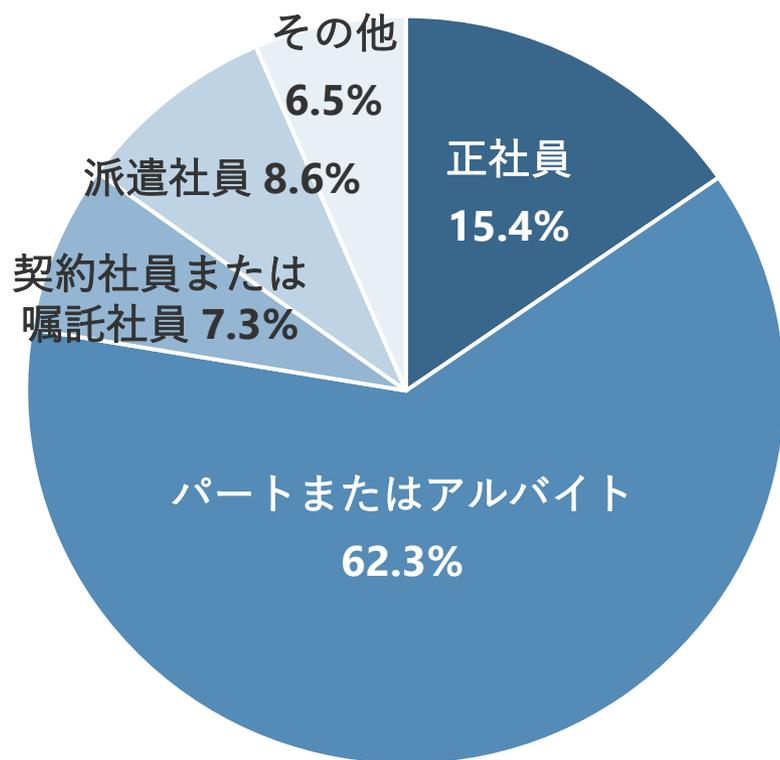
- ▶インターネットリサーチ

## 有効回答数

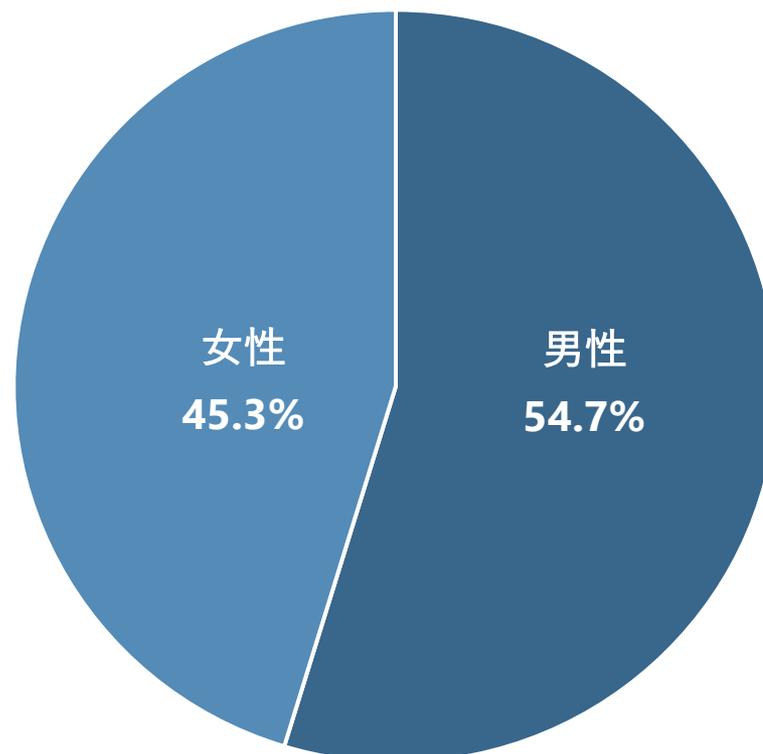
- ▶371件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

## 希望する雇用形態



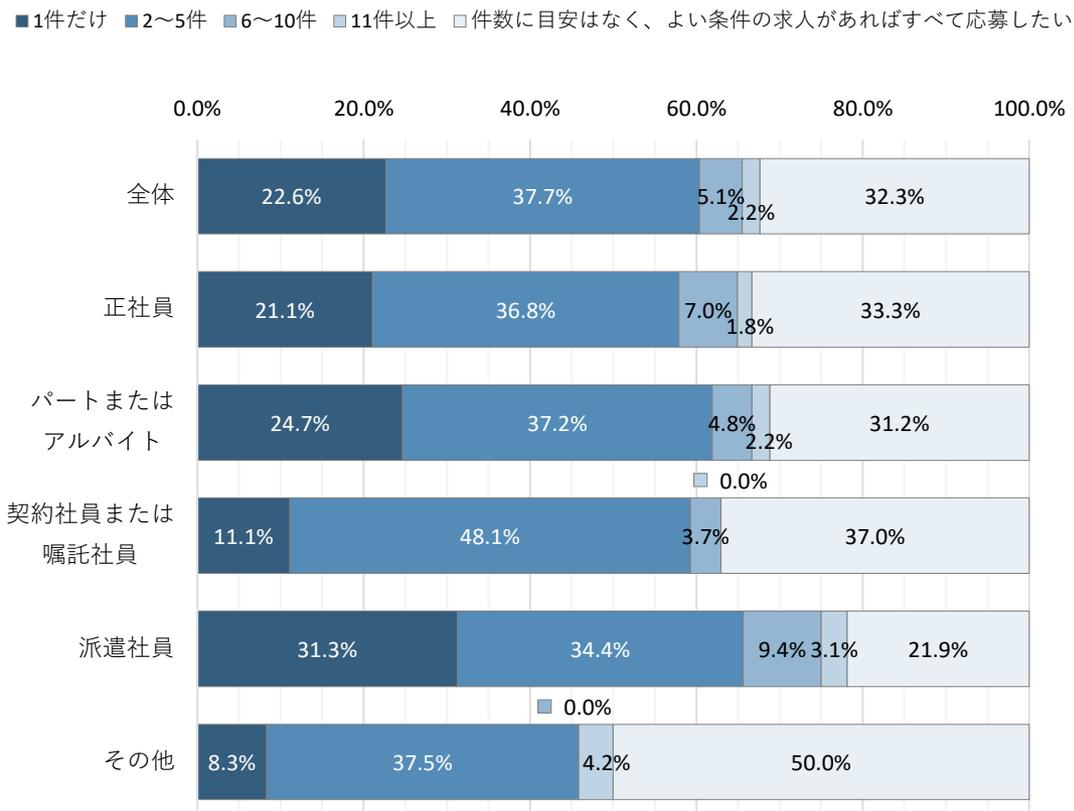
## 性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかをきいた。全体では、「2～5件」が最も多く37.7%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が32.3%、「1件だけ」が22.6%、「6～10件」が5.1%、「11件以上」が2.2%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の約8割となった。

希望雇用形態別にみると、「派遣社員」では「よい条件の求人があればすべて応募したい」は21.9%で、他の雇用形態を希望する人たちより低い割合だった。応募する件数に目安を設けて活動している割合が高いようだ。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。

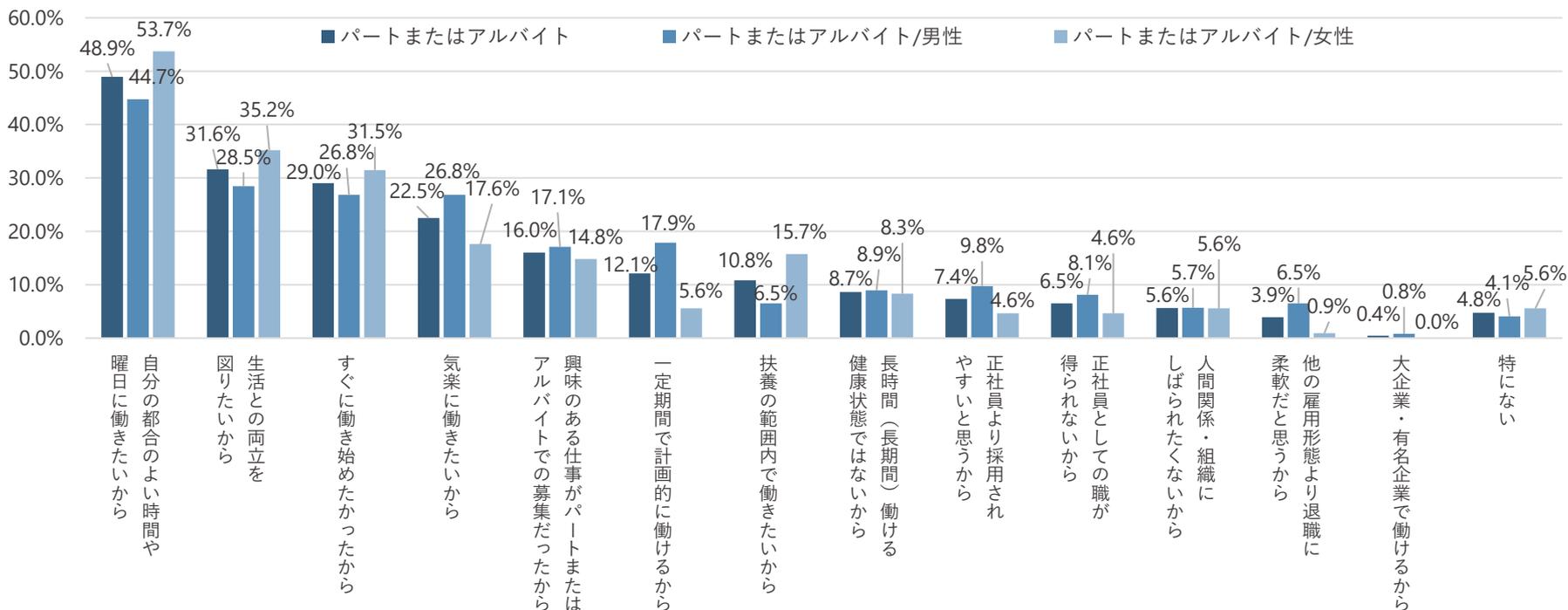


イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で48.9%、次いで「生活との両立を図りたいから」が31.6%、「すぐに働き始めたかったから」が29.0%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「一定期間で計画的に働けるから」が12.3pt、「気楽に働きたいから」が9.2pt、「他の雇用形態より退職に柔軟だと思ふから」が5.6pt高くなった。就業が難しくなった場合は区切りをつけやすい仕事がパート・アルバイトに多いと考えている人が一定数いるようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が9.2pt、「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」が9.0pt、「生活との両立を図りたいから」が6.7pt高くなった。限られた範囲の中で働くことのできるスタイルを探していることがわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

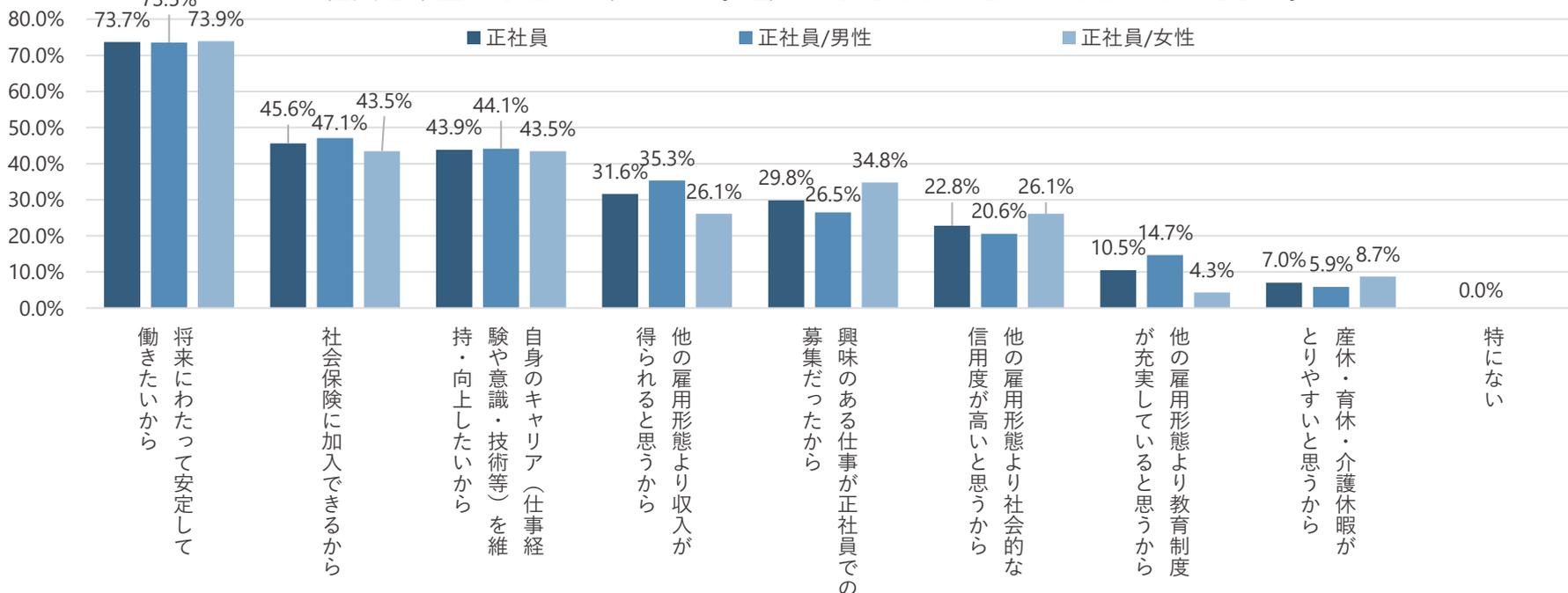


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が73.7%、次いで「社会保険に加入できるから」が45.6%、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が43.9%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「他の雇用形態より教育制度が充実していると思うから」が10.4pt、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」が9.2pt高くなった。一般的に正社員のほうが恩恵を受けやすいとされる部分に、魅力を感じる人が多いのかもしれない。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「興味のある仕事が正社員での募集だったから」が8.3pt、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が5.5pt高くなった。やりたい仕事内容をに重きを置いて仕事探しに臨む割合が男性より高いようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



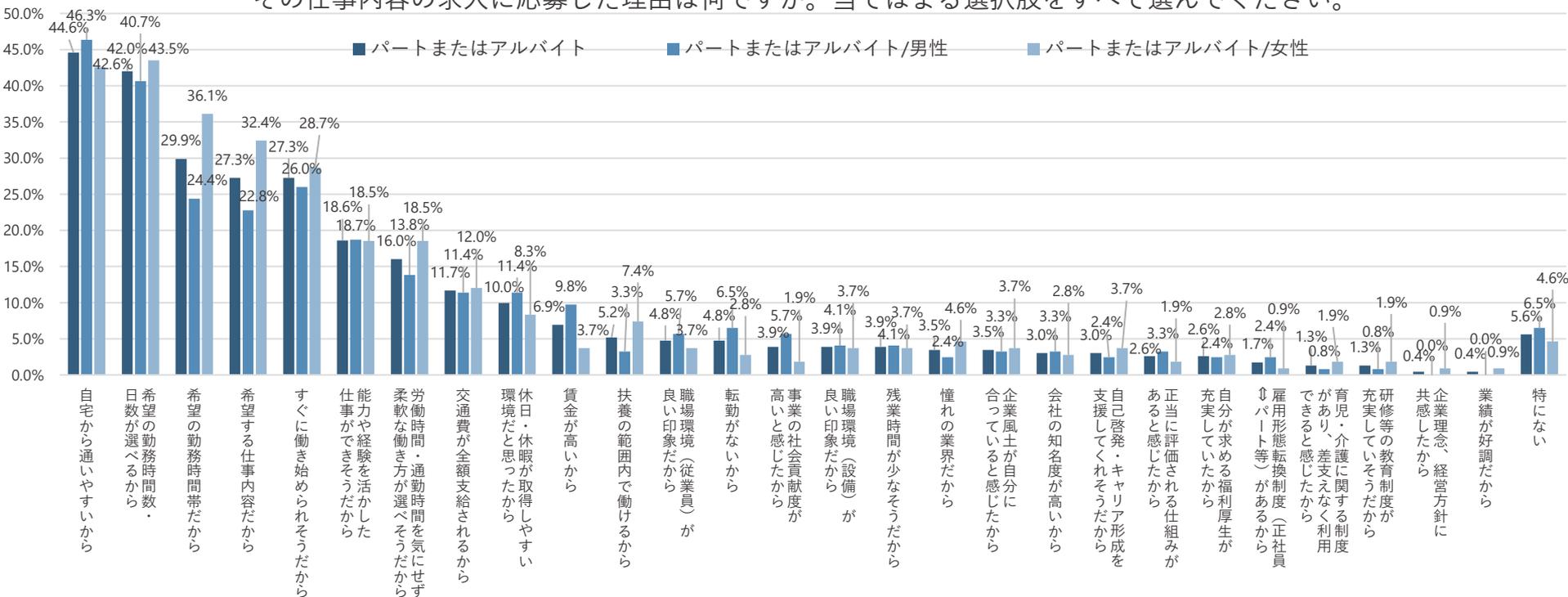
# 求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で44.6%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が42.0%、「希望の勤務時間帯だから」が29.9%となった。限られた時間の中で就労をしたいことから、通いやすさも同時に意識していることがわかる。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「賃金が高いから」が6.1pt高くなった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「希望の勤務時間帯だから」が11.7pt、「希望する仕事内容だから」が9.6pt高くなった。勤務時間を柔軟に設定できる場合はもちろん、ターゲットの生活時間を意識して勤務時間例を表示するなどの工夫をすることで、求職者の目に留まりやすいかもしれない。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



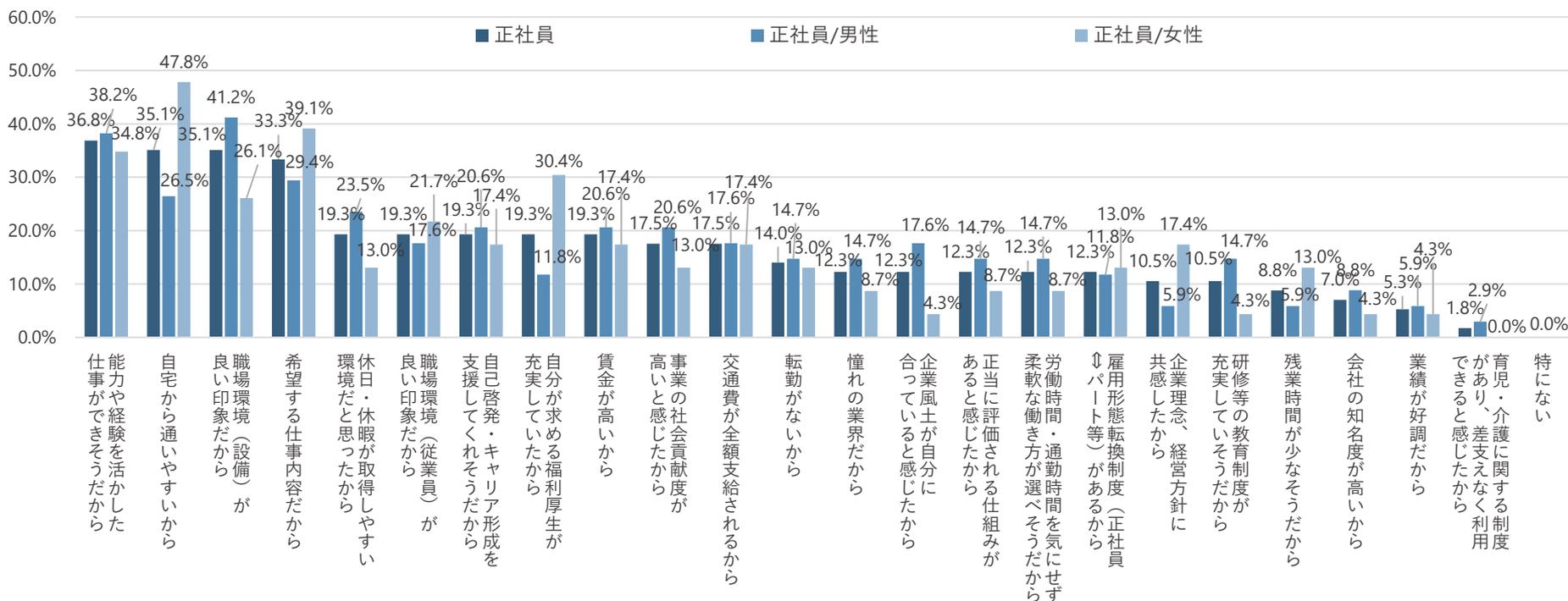
# 求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が36.8%、「自宅から通いやすいから」が35.1%、「職場環境（設備）が良い印象だから」が35.1%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「職場環境（設備）が良い印象だから」が15.1pt、「企業風土が自分に合っていると感じたから」が13.3pt、「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」が10.5pt高くなった。勤め始めた後の居心地を想像した判断をしていると考えられる。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「自宅から通いやすいから」が21.3pt、「自分が求める福利厚生が充実していたから」が18.6pt、「企業理念、経営方針に共感したから」が11.5pt高くなった。特に通いやすさは約半数から支持されている。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。

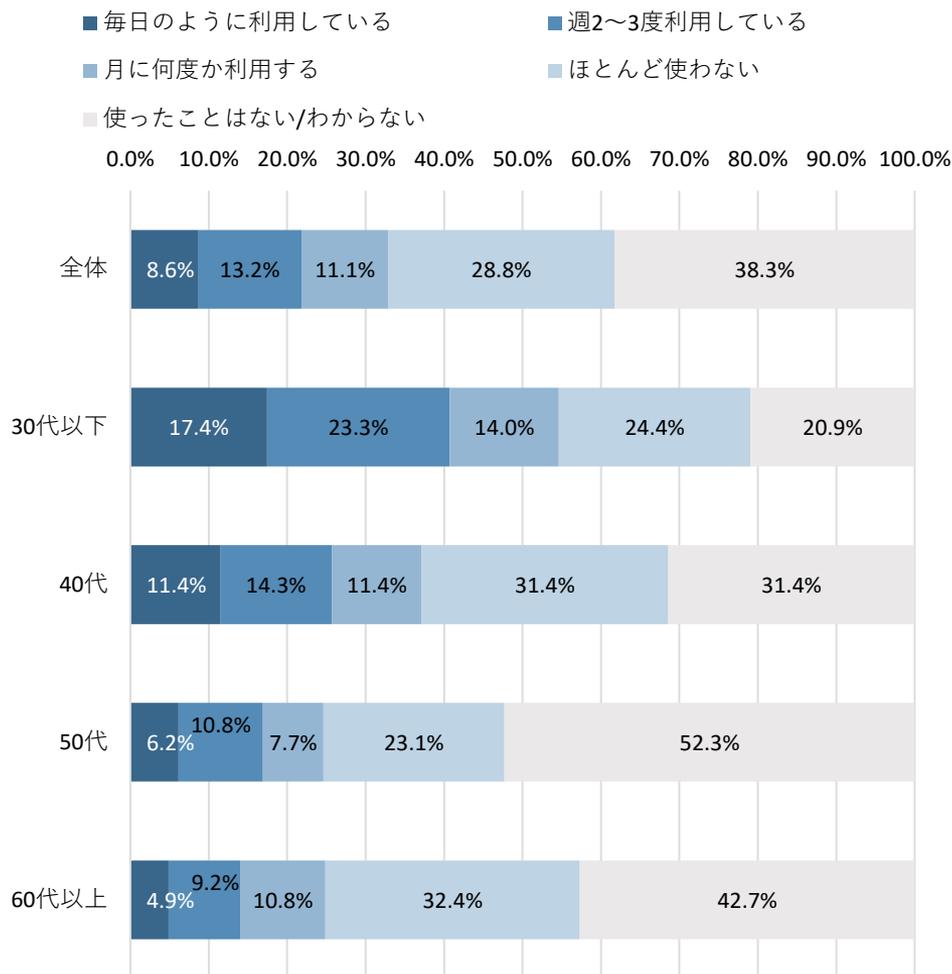


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、日常生活の中で生成AIをどのくらい利用しているのかをきいた。全体では、「使ったことはない/わからない」が最も多く38.3%、次いで「ほとんど使わない」が28.8%、「週2〜3度利用している」が13.2%、「月に何度か利用する」が11.1%、「毎日のように利用している」が8.6%となった。

年代別にみると、年代が上がるにつれて、「毎日のように利用している」と回答した割合は低くなった。また、「30代以下」では「毎日のように利用している」「週2〜3度利用している」「月に何度か利用する」と回答した割合が他の年代よりも高く、日常の中でより多く生成AIに触れていることがわかった。

一方で、「50代」では「使ったことはない/わからない」が52.3%と半数を超えた。あまりなじみがない人が多いようだ。

日常生活の中で、生成AIを利用することはありますか



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、これまでの求職活動で、生成AIを利用した経験はあるかどうかを利用目的別にきいた。「使ったことがある」が最も多かった利用目的は「履歴書・職務経歴書の作成・添削」で22.6%、次いで「求人情報の検索・比較」が21.3%、「自己PR・志望動機の作成・添削」が19.1%となった。生成AIは文章の作成が得意なこともあり、提出書類の作成に一役買っているようだ。また、求人情報の抽出に利用していることから、求人を出す際には、検索されそうなキーワードを使ったり、専門用語だけでなく一般的な表現での記載をしたりといった工夫も、閲覧数の増加に有効かもしれない。利用目的の「いずれかで使ったことがある」割合は41.8%となった。

「使ったことがある」の回答が少なかった利用目的は「面接対策（想定質問・解答例の提示）」で11.1%、「適性検査などの試験対策」が12.7%だった。面接対策は、応募先企業の特徴や口コミサイトの過去投稿などで参考にできるものもあれば、面接官との対話の中で臨機応変な対応が求められることもあり、事前に生成AIを使って対策するには至らないのかもしれない。

これまでの求職活動で、生成AIを利用した経験はありますか

